

公益財団法人私立大学退職金財団
令和元年度 事業報告書

令和元年度事業の概要は、次のとおりである。

I 役員(理事・監事)・評議員関係 ()内は就・退任時の役職

1. 任期満了に伴う改選(就任日:令和元年6月21日)(※は新任)

理事の任期が満了となったため、第17回評議員会で新たな理事が選任され、就任した。
また、同評議員会後に開催された第21回理事会で理事長及び常務理事が選定された。

《就任》

理事長	小原 芳明	(玉川学園理事長、玉川大学学長)
常務理事	徳久 治彦	※
	守田 芳秋	※
理事	井上 寿一	(学習院大学学長)※
	坂根 康秀	(山内学園理事長)※
	滝川 嘉彦	(滝川学園理事長・学園長)
	福原 紀彦	(中央大学学長)※
	牧内 良平	(神奈川大学理事長)
	村田 治	(関西学院大学学長)
	本山 和夫	(東京理科大学理事長)

(任期:令和3年6月に開催の定時評議員会の終結の時まで)

《任期満了に伴う退任》

理事長	酒井 正三郎	(中央大学総長)
常務理事	素川 富司	
	大沼 聡	
理事	大塚 吉兵衛	(日本大学学長)
	福元 裕二	(永原学園理事長・学園長)

2. 評議員の就任

大場 昌子(日本女子大学学長)

令和元年6月21日

(任期:令和3年6月に開催の定時評議員会の終結の時まで)

Ⅱ 業務関係

1. 維持会員(学校法人)の状況(会員数の増減) (法人)

区 分	大学法人	短大法人	高専法人	計
期 首	4 9 7	9 7	1	5 9 5
新規加入	2	0	0	2
資格喪失	△ 2	△ 1	0	△ 3
合 併 等	0	0	0	0
期 末	4 9 7	9 6	1	5 9 4

[新規加入法人]

悠久崇徳学園 長岡崇徳大学(長岡崇徳大学)

四條畷学園(四條畷学園大学、四條畷学園短期大学)

[資格喪失法人]

明浄学院(大阪観光大学)

ありあけ国際学園(保健医療経営大学)

立教女学院(立教女学院大学)

2. 登録教職員の状況 ()内は事業計画

(1) 期首登録者数	128,560人	
(2) 新規登録者数	10,171人	
(3) 退職者数	9,954人	(9,790人)
(4) 期末登録者数	128,777人	
(5) 月平均登録教職員数	136,774人	(136,776人)

3. 掛金の納入状況(第11次掛金率の適用初年度)

(1) 1人当たり俸給月額	416,601円	(414,948円)
(2) 掛 金	74,074,594,500円	(74,200,000,000円)
(3) 特別納付金	57,330,660円	

4. 退職資金の交付状況

(1) 1人当たり退職資金交付額	7,604,794円	(8,406,537円)
(2) 退職資金交付金	75,698,123,130円	(82,300,000,000円)
(3) 退職資金特別交付金	73,209,714円	

5. 退職資金交付事業の検討

将来にわたって財政の均衡を保つため、令和4年度からの第12次掛金率の計算基礎等についての検討を行った。

6. 退職資金申請システム（t-マネージャ）

退職資金申請システムで使用しているサーバー等機器類のリース期間終了に伴い、稼働環境を日本電子計算（株）のプライベートクラウドへ移行した。また、システムで使用している開発言語のサポートが終了したため、システムのOSをWindowsからLinuxに変更し、開発言語のサポートを2026年5月まで受けられるようにした。

7. 退職資金申請システムの利用促進

退職資金申請システムを利用していない維持会員（7会員）への利用推奨を継続した。

8. 調査研究事業

退職資金交付事業の改善と充実に資することを目的として、維持会員の退職金制度等の実態について調査を実施した（平成16年度から毎年度実施）。集計結果（回答率100%）を取りまとめ、令和元年10月7日に「令和元年度退職金等に関する実態調査報告書」として維持会員等へ報告した。

9. 業務説明会

退職資金交付業務の適正かつ効率的な実施を図るため、初任者を対象とした事務手続き等の説明会を東京及び大阪で開催した。

- | | | | | | |
|-----|------|----|-------|----|-----------|
| (1) | 令和元年 | 7月 | 1日(月) | 東京 | アルカディア市ヶ谷 |
| (2) | // | 7月 | 2日(火) | 東京 | アルカディア市ヶ谷 |
| (3) | // | 7月 | 5日(金) | 大阪 | 大阪ガーデンパレス |

10. 広報誌「BILANC」 ピラック

下記の内容を主要記事とし、理事長・常務理事就任挨拶、働き方改革等に関する特集、特色ある学校法人の活動の紹介、立命館アジア太平洋大学出口治明学長や学校法人桐蔭学園溝上慎一理事長へのインタビュー等を掲載した各号を発行した。

- | | | | | | |
|-----|------|------|-----|-----|---------------------|
| (1) | 第19号 | 令和元年 | 8月 | 5日 | 理事会・評議員会報告、平成30年度決算 |
| (2) | 第20号 | 令和元年 | 11月 | 28日 | 「BILANC」20号のあゆみ |
| (3) | 第21号 | 令和2年 | 4月 | 3日 | 理事会・評議員会報告、令和2年度予算 |

11. 年次報告書（Annual Report）

退職資金交付事業の概要、財務の概要等を主要記事とした2018年度版を令和元年7月31日に発行した。

12. 業務及び財務等に関する情報の公開

最新の事業活動の状況、運営内容及び財務資料等を本財団のWebサイトで公開した。

13. 私立大学等の退職金制度等に関する相談業務

私立大学等の退職金制度等に関する相談業務を行った。

14. 関係団体等との意見交換

当財団の運営について、私大等関係団体、日本私立学校振興・共済事業団、文部科学省等と意見交換を行った。

Ⅲ 庶務関係

1. 理事会・評議員会の開催

(1) 理事会

① 第20回理事会

日時：令和元年5月31日(金) 13時30分～14時30分

場所：アルカディア市ヶ谷(私学会館)

議題： 1. 平成30年度事業報告の承認について
2. 平成30年度決算の承認について
3. 基本財産の指定について
4. 改元に伴う関係規程の一部改正について
5. 評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定について

報告： 1. 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告について
2. 内閣府に対する事業報告等に係る定期提出書類について
3. 維持会員の状況について

② 第21回理事会

日時：令和元年6月21日(金) 16時40分～17時

場所：アルカディア市ヶ谷(私学会館)

議題： 1. 理事長の選定について
2. 常務理事の選定について
3. 理事長職務代行順序の決定について

③ 第22回理事会

日時：令和2年2月26日(水) 10時30分～12時

場所：アルカディア市ヶ谷(私学会館)

議題： 1. 令和2年度事業計画書の承認について
2. 令和2年度収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認について
3. リスク管理規程の制定について
4. 給与規程の一部改正について
5. 評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定について

- 報告： 1. 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告について
2. 維持会員の状況について

(2) 評議員会

① 第17回評議員会

日時： 令和元年6月21日（金） 15時15分～16時20分

場所： アルカディア市ヶ谷（私学会館）

- 議題： 1. 平成30年度事業報告の承認について
2. 平成30年度決算の承認について
3. 評議員の選任について
4. 理事の選任について

- 報告： 1. 基本財産の指定について
2. 改元に伴う関係規程の一部改正について
3. 内閣府に対する事業報告等に係る定期提出書類について
4. 維持会員の状況について

② 第18回評議員会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、評議員会を招集・開催しないこととした。開催方法の変更にあたり一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第195条に定める「評議員会への報告の省略」として、「評議員全員の同意を得て評議員会を招集しての報告をしないこと」を令和2年3月11日付けで役員に通知した。続いて、評議員会に報告すべき下記の事項を通知し、3月25日付けで全ての評議員から評議員会を招集しての報告を要しないことについて同意を得たので、評議員会へ令和2年度事業計画等についての報告があったものとみなされた。

- 報告： 1. 令和2年度事業計画書について
2. 令和2年度収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
3. リスク管理規程の制定について
4. 給与規程の一部改正について
5. 内閣府による定期立入検査の実施について
6. 維持会員の状況について

2. 内部統制システムに関する体制の整備及び運用状況の概要

理事の職務執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他業務の適性を確保するために必要な体制の整備に関する内部統制システムに関する基本方針に則った運用を実施している。

(1) 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

倫理規程の理念に則り、コンプライアンスに関する意識の向上を図り、適正な事業の運営に取り組むため、遵守義務や情報の取扱い等についての研修を行い、職員の意識づけを行った。

コンプライアンス規程等に基づき、常務理事をコンプライアンス総括責任者とし、事務局長、調査役及び各部署の担当責任者で構成するコンプライアンス委員会を4月と10月に開催し、運用状況の確認を行い、検討事項について協議し課題解決に取り組んだ。

(2) 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

理事会、評議員会等の議事録、事業運営上の重要事項に関する決裁書類等の理事の職務の執行に関する文書は、文書に関する規程（稟議取扱規程、文書決裁規程、文書取扱規程、経理規程等）に基づいて適切な保存及び管理を行った。

個人情報の保護については、個人情報保護方針、個人情報保護規程及び特定個人情報取扱規程に基づき、常務理事を個人情報保護管理者とし、事務局長、調査役及び各部署の担当責任者で構成する個人情報管理委員会を開催し、取り扱う個人情報の内容の整理とその入手方法や保管場所等に係わる重要事項の決定又は連絡調整を行い、適切な管理に係わる研修を行った。

(3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

リスク管理に関する組織図に基づき、本財団の事業に関する様々なリスクの状況の把握及び分析により、予防措置を講じる等リスクの未然防止を図った。また、当財団をめぐり想定されるリスクの防止及び損失の最小化を図り、災害等が発生した場合の対応や対策等について定めたリスク管理規程を制定した。

① 交付事業リスク（維持会員の解散等による回収不能等の危険性）

資格喪失予定会員等と適宜情報交換を行い、掛金や退職資金に係わる事項につき、その状況又は実績について報告書の提出を求めるなど情報収集に努めた。

② 市場リスク（金利等の相場変動による損失の危険性）

③ 流動性リスク（市場の混乱等のため資金調達困難の危険性）

資産の管理及び運用に関する規程に基づき、資産の運用に関する基本方針を定め、資産管理運用会議で資産の健全性の維持向上を確保し、退職資金交付事業の安定に努めた。

④ システムリスク（コンピュータシステムの障害等による事業継続の危険性）

退職資金申請システム（テーマネージャ）について、第三者による脆弱性診断を実施し、指摘事項の改修を行う等情報セキュリティレベルの向上に努めた。

また、個人情報を含む記憶媒体（サーバ機等）については、当財団が指定する方法によるデータ消去証明書を運用委託会社から取得するとともに、職員がデータ消去を確認することとした。

⑤ 業務リスク（業務の過程、役職員の活動又は災害などの外生的な事象による業務継続の危険性）

人的リスク、法務リスク、有形資産リスクに対し、関連法令等を確認した。

自然災害、事故等の緊急事態が発生した場合の対応については、緊急事態連絡網、災害時行動マニュアルを定め、迅速な情報収集、適切な判断等により損害の最小化を図ることに努めた。

なお、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、リスク管理規程に基づく緊急事態対策本部を設置し、退職資金の交付を確実に実施すること及びそのための役職員の勤務態勢等を検討した。

(4) 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

理事長会議（理事長、常務理事、事務局長等で構成）、常務理事会議（常務理事、事務局長等で構成）を毎月開催し、理事長及び常務理事の職務執行を効率的に行うための審議を行った。

(5) 監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制等

監事は、会計監査及び業務監査の実施計画に基づき監査を行い、理事及び職員は、監事の求めに応じて、職務の執行状況の報告を行った。また、監査の際には、会計監査人と意見交換を行った。

3. 監事監査

(1) 決算監査日：令和元年5月24日(金)

本財団役員室において、平成30事業年度における事業報告及び決算並びに理事の職務執行状況の監査を受けた。

(2) 期中監査日：令和元年11月15日(金)及び11月22日(金)

本財団役員室において、令和元事業年度における業務及び財産の状況並びに理事の職務執行状況の監査を受けた。

4. 常勤役員・職員の構成

(1) 常務理事 2名

(2) 職員 11名

5. その他

令和2年1月15日に内閣府の公益認定等委員会事務局による定期立入検査が行われた。

IV 附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。